

こだま Q&A 

Q38

血小板数が前回値と比べて低くなり、「血小板の凝集が見られます」というコメントがありました。どのような病態が考えられますか。

A38

血小板の凝集は標本を観察することで確認できます。血小板は凝集により真の血小板数よりも低値となり、“見かけ上の血小板減少”が起こってしまいます。血小板凝集の原因は、採血手技によるものがほとんどです。採血に時間がかかったり組織液が入ったり、採血直後に採血管の転倒混和が不十分だったりする場合などです。

採血に問題がない場合は、「EDTA 依存性偽性血小板減少症 (EDP)」が疑われます。

これは、採血管内の現象のため、病的なものではありませんが、肝疾患、抗生物質投与後などに多いとされています。出現頻度は0.03～0.1%で起こると言われています。

お問合せ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)


きやつちボール

はじめまして。本年1月より山崎技師長の後を受け、エスアールエルより出向してまいりました亀石です。

歴史ある広島市医師会 臨床検査センターの一員として、これまで培った知識、経験を活かし、臨床検査センターは勿論のこと、検査を通じて、会員の先生方のお役に立てるよう頑張る所存ですので、どうか宜しくお願い致します。

広島は、生まれて初めてですが、気候もよく、食べ物も美味しく、何より人が良いと聞いています。重責を感じる一方、これからの広島ライフを楽しみにしています。

亀石 猛（検査科技師長）

広報委員

谷敷 圭美 / 釘宮 亘 / 熊川 良則 / 片山 智恵子 / 初岡 博 / 高磨 潤

